

樹木類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						菌(サ)	ハシ	斑点	輪紋	うどん	枝枯	炭疽	くもの	白絹		
						コ	ス	ポ	ド	ラ	枯	病	病	病	病	病
1	ICボルドー66D		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メバニピリム	U13、9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	ドイツボルドーA		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ピリカット乳剤		普	ジフルメトリム	39	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	ベンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
8	マイコシールド		普	オキシテトラサイク リン	41	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
9	モンカットフロアブル40		普	フルトラニル	7	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
10	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-

樹木類(かしを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						こう 病 ど ん	び 灰 病 色 か
1	フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	○	○

樹木類(こでまり、ポインセチア、やなぎを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						こう 病 ど ん
1	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN、 F:M10	○

樹木類(つつじ類、かし、さくら、じんちょうげ、ほけ、ポプラ、いぬつげを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						う ど ん こ 病	ご ま 色 斑 点 病	サ ー コ ス ポ ラ 菌)	斑 点 症 (シ ュ ー ド)	輪 紋 葉 枯 病
1	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチ ル	1	○	○	○	○	○

樹木類(くちなしを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						シア類 ブラム	ケムシ類	リシムヤシク類ト
1	アディオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	○	○

樹木類(さくらを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						ケムシ類
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○

樹木類(しきみを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						ウセネングチサユレ
1	アグリメック	抑制	劇	アバメクチン	6	○

樹木類(つつじ類、いぬまきを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						ケムシ類
1	トレボンEW	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○

樹木類(つつじ類、ポインセチア、ソテツを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						ハオビカレ	ケムシ類	リシムヤシク類ト
1	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	○	○

樹木類(つつじ類、つばき類を除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ケムシ類	
1	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	
2	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	

樹木類(つばき類を除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						シアロメヒトカリ	イラガ類
1	トアロー水和剤CT		-	BT	11A	○	○

樹木類(まさき、もっこく、さくらを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ムカイ類ガラ	ケムシ類
1	カルホス乳剤		劇	イソキサチオン	1B	○	○

樹木類(まつ、やなぎ、さくらを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ムグシン類バイ	
1	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	

9-(1) 樹木類

病害虫名	防除方法	参考事項
ツノロウムシ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。 休眠期 成虫多発時には寄生された枝を剪定する。	<ul style="list-style-type: none">・年1回の発生で幼虫のふ化期は、6月中下旬である。・幼虫と雌成虫が枝や幹に寄生し、多発すると樹勢が衰え、早期に落葉するようになる。すす病を誘発する。
カイガラムシ類幼虫	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。 休眠期 成虫多発時には寄生された枝を剪定する。	<ul style="list-style-type: none">・種類により第1世代幼虫の発生時期が異なるが、おおよそ5月中旬～6月中旬頃に発生する。

樹木類-かえで-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						ゴ マ ダ ラ カ ミ キ リ
1	園芸用キンチョールE		普	ペルメトリン	3A	○

樹木類-プラタナス-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						ケ ム シ 類
1	チューンアップ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○

樹木類－あじさい－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						斑点細菌病		
1	キノドーフロアブル		普	有機銅	M1	○		

樹木類－あじさい(ポット・プランター等の容器栽培)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						茎根腐病		
1	ユニフォーム粒剤		普	1.アゾキシストロピン 2.メ タラキシル及びメタラキシル M	11,4	○		

樹木類－ハイドラングア－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						輪 斑 病	灰 色 か び 病	葉 腐 病
1	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	○	○	-
2	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	○

9-(3) あじさい・ハイドラングア（樹木類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
葉腐病	生育期 通風を良好にし、発病株は早期に処分する。	・高温多湿条件が続くと、病斑部にくもの巣状の菌糸がまん延する。
輪斑病	生育期 通風を良好にし、病葉は除去し処分する。	・罹病残さや落葉が伝染源となる。
輪紋病	生育期 通風を良好にし、病葉は除去し処分する。枝枯れした株は発病株は除去する。	・罹病残さや落葉が伝染源となる。 ・葉への症状だけではなく、枝枯れ症状をおこすこともある。 ・病原菌は、糸状菌（フォーマ菌）である。
斑点細菌病	生育期 1. 前年に症状が確認された株は親株に使用しない。 2. 症状がみられた株は早期に処分する。 3. 露地で管理する際はできる限り降雨などによる土壌の跳ね上がりを避ける。 4. 露地で管理する場合、9月中旬頃から適用薬剤で防除する。	・症状は葉縁の黒点、新葉の褐色小斑点、中位葉の水浸状大型病斑など多種類ある。 ・本病は鉢上げ後、夏から秋にかけて感染する。特に野外で管理すると感染しやすく、その後に加温管理することで発病する。 ・発病適温は 20℃で、多湿条件でなくても発病し、20℃～25℃で多湿期間が2日以上続くと発病が多くなる。 ・宿主範囲 アジサイ、メロン、コーンサラダ（レタスの一種）、タケニグサ、スイカ、チャ
葉化病	生育期 1. 発病株の早期発見に努め、発病が疑わしい株は直ちに処分する。 2. 前年に症状が確認された株は親株に使用しない。	・主な病徴は、花（がく）全体又はその一部が淡緑色～濃緑色を呈する葉化症状、花（がく）の中央部から新たな葉化した芽が形成される突き抜け症状である。 ・本病はファイトプラズマが病原である。感染経路はさし木繁殖以外は未解明である。

樹木類－いぬまき－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						モンアシブトゾウムシ
1	トレボンEW	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	○

樹木類－こでまり－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						うどんこ病
1	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN、 F:M10	○

樹木類—さくら—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						果て病んぐ	核幼病果菌
1	トップジンMペースト		普	チオファネートメチル	1	○	-
2	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○

樹木類—さくら—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						ロアヒメトリカシ	シモンチクホコ	ヤクカピミアカリツ	ケムシ類	コスカシバ
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	-	-	○	○	-
2	ウッドスター		普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-
3	オルトラン液剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
4	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	-	-
5	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	-	○	-	-
6	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	-	-
7	ダブルトリガー液剤	抑制	普	シクラニプロール	28	-	-	○	○	-
8	チューンアップ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	-	-	-	○	-
9	トアローフロアブルCT		-	BT	11A	○	-	-	-	-
10	ノーモルト乳剤	抑制	普	テフルベンズロン	15	○	-	-	-	-
11	バイオセーフ		-	スタイナーネマカーボキサエ	-	-	-	○	-	○
12	バイオリサ・カミキリ		-	ポーベリア ブロンニアティ	-	-	-	○	-	-
13	バシレックス水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	-	-	-
14	フェニックスフロアブル	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	○	-
15	マツグリーン液剤2	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	○	-
16	マブリック水和剤20	抑制	劇	フルバリネート	3A	○	-	-	-	-
17	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-

樹木類—さるすべり—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						こう病どん
1	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミジール	U6、3	○
2	ポリバリン水和剤		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシ	M7、19	○

樹木類—つつじ類—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						褐斑病	もち病	うどんこ病	アブラムシ類	ツツジグンバイ	ツツジコナジラミ
1	クブロシールド		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
2	サンヨール		普	DBEDC	M1	-	-	○	○	○	○
3	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-	-	-	-
4	バンタック水和剤75		普	メプロニル	7	-	○	-	-	-	-

樹木類—つつじ類—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						ツツジグンバイ	コガネムシ類幼虫	ケムシ類	カイガラムシ類	ベニモンアオリンガ	コガネムシ類	グンバイムシ類	オビカレハ	シヤクトリムシ類
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アディオフロアブル	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7	オルチオン乳剤		普	1. MEP 2. アセフェート	1B、1B	○	-	○	○	-	-	-	-	-
8	オルトラン液剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	-	○	-	-	-	-
9	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	○	-	-	-	-	-	-
11	オンコル粒剤5		普	ベンフラカルブ	1A	-	○	-	-	-	-	-	-	-
12	ガゼット粒剤		劇	カルボスルファン	1A	○	-	-	-	-	○	-	-	-
13	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	スカウトフロアブル	抑制	劇	トラロメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-
18	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	-	-	-	-	-	○	-	-

* つつじ類におけるアドマイヤーフロアブルの散布の使用時期は、ただし書きに注意；(ただし、露地栽培については発芽期から開花期を除く)。

樹木類—つつじ類—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名									
						ツツジゲンバイ	コガネムシ類幼虫	ケムシ類	カイガラムシ類	ベニモンアオリンガ	コガネムシ類	グンバイムシ類	オビカレハ	シャクトリムシ類	イシユクセンチュウ
19	ダーズバン粒剤		劇	クロルピリホス	1B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
20	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	トクチオン細粒剤F		普	プロチオホス	1B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
22	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	トレボンEW	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
24	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-
25	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
26	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
27	モスピラン液剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-

樹木類—つつじ類—殺虫殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ツツジゲンバイ	褐斑病
1	スミトップM粉剤		普	1.MEP 2.チオファネートメチル	I:1B、F:1	○	○

樹木類—つつじ類—さつき—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ツツジゲンバイ	チュウレンジハバチ
1	カスケード乳剤		普	1.MEP 2.チオファネートメチル	I:1B、F:1	○	○

9-(6) つつじ類（樹木類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
褐斑病	生育期 着生病葉および前年発病して落葉した葉を処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・病葉上の分生子殻で越冬する。 ・越冬病葉は5~6月にいっせいに落葉する。
もち病	生育期 病患部が白粉を生じる前に発病枝を切除する。	<ul style="list-style-type: none"> ・5~6月頃多発する。
花腐菌核病	生育期 1. 罹病した花は摘み取って処分する。 2. 冬期落葉は必ず処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・4~6月頃、多雨時に発生が多くなる。
ツツジグンバイ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年数回発生で5月から秋まで発生する。幼虫ふ化期は西日本では4月下旬~5月上旬、7月、9~10月。 ・風通しが悪く、高温乾燥条件で発生が多くなる。
ベニモンアオリンガ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2~3回の発生。幼虫ふ化期は西日本では、5~10月に見られ、5~6月は新葉を食害。7~10月は蕾を食害する。 ・加害幼虫が小さく、被害が広がってからの防除では、次年度の開花は望めないので、発生状況をよく観察する。
カイガラムシ類幼虫	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツツジコナカイガラムシが多い。越冬幼虫は4月頃から活動し新芽に加害する。幼虫ふ化期は6月に現れ年1回の発生する。
ハマキムシ類		<ul style="list-style-type: none"> ・コカクモンハマキ、チャハマキが多い。

樹木類—つばき類—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名		
						チャ ドク ガ	ア メ リ カ シ ロ ヒ トリ	イ ラ ガ 類
1	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
2	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	-	-
3	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	-	-
4	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
5	トアロー水和剤CT		-	BT	11A	○	○	○
6	トクチオン乳剤		普	プロチオホス	1B	○	-	-
7	バシレックス水和剤	抑制	-	BT	11A	○	-	-
8	マブリック水和剤20	抑制	劇	フルバリネート	3A	○	-	-
9	モスピラン液剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-

樹木類－びやくしん類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						赤 星 病
1	バシタック水和剤75		普	メプロニル	7	○

樹木類－びやくしん類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						赤 星 病
1	石灰硫黄合剤		普	石灰硫黄合剤	I:UN F:M2	○

9-(8) びやくしん類（樹木類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
赤星病	【果樹類】 「なし」の各論、赤星病の項1を参照	<ul style="list-style-type: none">・病原菌はナシなどの赤星病を引き起こし、ビャクシン類が中間宿主となる。・ナシ園などの周辺には植栽を避ける。

樹木類－ポインセチア－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						コナジ ラミ類	うど んこ病
1	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	E:UN、 F:M10	○	○

樹木類－ポインセチア－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名				
						アブ ラムシ類	コナ ジラミ類	オビ カレハ	ケム シ類	シヤク トリムシ類
1	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-	-
2	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	○	-	-	-
3	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	-	○	○	○	○
4	ノーモルト乳剤	抑制	普	テフルベンズロン	15	-	○	-	-	-
5	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-

樹木類－ポインセチア(施設栽培)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						アブ ラムシ類	コナ ジラミ類
1	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	○

樹木類—まさき—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名		
						うどんこ病		
1	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○		
2	ポリベリン水和剤		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシ	M7、19	○		
3	マネージ乳剤		普	イミベンコナゾール	3	○		

樹木類—まさき—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名		
						カイガラムシ類	ケムシ類	ユウマダラエダシヤク
1	カルホス乳剤		劇	イソキサチオン	1B	○	○	○

樹木類—まつ類—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名
						ハバチ類 (若く 中齢幼虫)
1	デミリン水和剤	抑制	普	ジフルベンズロン	15	○

樹木類—まつ類—まつ—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名
						葉ふるい病
1	キノドー水和剤40		普	有機銅	M1	○

樹木類—まつ類—まつ—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名
						アブラムシ類
1	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○

9-(11) まつ（まつ類、樹木類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
葉ふるい病	生育期 1. 病落葉は集めて処分する。 2. 衰弱した木では施肥などを行い、樹勢を回復させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に前年葉が褐変する。褐変は地表面に近い針葉から現れる。また針葉の先端から症状が現れる。
マツカレハ	休眠期 11月頃樹幹にコモを巻き付け、越冬幼虫を潜伏させ処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回発生する。 ・幼虫は越冬幼虫が4月上旬～6月上旬に発生する。
マツコナカイガラムシ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体長3～4mm、体表面にうすく白粉状のロウ質物でおおわれる。マツの新梢に寄生し、すす病を誘発する。 ・年1回の発生で幼虫ふ化期は6月上中旬である。
マツ材線虫病 （マツクイムシ）	生育期 1. マツの樹勢を強く保つとマツノマダラカミキリの飛来を忌避する効果が高い。 2. 隣接地に枯れたマツがあると、マツノマダラカミキリの密度が高まるため伐採し、玉切りして、枝条まで集積してビニールで被覆し登録のある薬剤で薫蒸する。	<ul style="list-style-type: none"> ・マツ材線虫病はマツノザイセンチュウがマツの中で繁殖することで樹勢が低下する病気。マツノザイセンチュウはマツノマダラカミキリによりマツに運ばれてくる。 ・マツクイムシは単一の虫ではなく、松の樹幹や枝に穿孔するコウチュウ目（甲虫類）のことで、ゾウムシ類やカミキリムシ類、キクイムシ類の総称。 ・感染時期である夏が高温小雨の場合、例年より多くの被害が発生する。
マツノマダラカミキリ	生育期 成虫発生期の6～7月に2回程度登録のある薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・衰弱したマツや伐採木に好んで集まり、健全木にはほとんど寄生しない。

樹木類—もっこく—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名	
						ケ ム シ 類	モ ツ コ ク ハ マ キ
1	カルホス乳剤		劇	イソキサチオン	1B	○	○

9-(12) もっこく (樹木類に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
モッコクハマキ	生育期 幼虫ふ化期に適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none">・モッコクハマキ(別名モッコクヒメハマキ)は年3~4回発生し、4月下旬頃から第1回目の成虫が現れる。最も激しい被害となるのは、第2回幼虫の発生する6~7月である。・被害としては新芽や新葉の2~3枚が糸で綴られ折れ曲がったり、枯れたりする。

樹木類－やなぎ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						さび病	うどんこ病	葉さび病	ハダニ類
1	バシタック水和剤75		普	メプロニル	7	○	-	-	-
2	マネージ乳剤		普	イミベンコナゾール	3	-	○	○	-
3	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN、 F:M10	-	○	-	○

樹木類－やなぎ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						ハダニ類
1	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	○

樹木類－ゆきやなぎ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						苗立枯病
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○